

東京都臨床検査技師会 平成24年度 第4回理事会議事録

日 時：平成24年7月18日（水）19時00分～21時00分

場 所：都臨技事務所

出席者：下田，千葉，小松，宮崎，原田，高城，中西，井上，鈴木，工藤，土橋，蝶名林，石橋，大野，杉岡，
三橋，多田，佐藤，松村，小山，東海林監事，立花監事，萩原役選委員，板垣役選委員

議長：下田

1. 行動報告（理事）

6月12日（火）	データ標準化・精度管理調査委員会	千葉，中西
6月13日（水）	STI 予防委員会	原田，佐藤
6月21日（木）	渉外部会	原田，多田，佐藤，千葉
6月22日（金）	編集委員会	高城，蝶名林
6月25日（月）	学術部会	高城，中西，蝶名林，大野
7月3日（火）	役員選出委員会	工藤
7月4日（水）	公益移行推進委員会	下田，千葉，小松，宮崎，原田，中西，井上，鈴木，工藤，多田
7月4日（水）	監理会議	下田，千葉，小松，宮崎，原田，高城，中西，水越，鈴木，工藤
7月5日（木）	学会企画委員会	小松，高城，原田，中西，鈴木，工藤，蝶名林，大野
7月5日（木）	会計部会	鈴木，土橋
7月6日（金）	組織部会	杉岡，三橋，多田，蝶名林，佐藤，千葉
7月10日（火）	表彰選考委員会	千葉，小松，工藤

2. 報告事項

1) 平成24年度第3回理事会議事録の内容確認

2) 各部局報告

○組織部

【報告事項】

<部長報告>

・組織部・学術部合同研修会について

本年度は4地区（多摩，南西部，北東部，中部）で開催とし内容に関しては学術部と打合せする。

・北部地区・東部地区合同研修会に関して

11月16日（金） 「北とびあ」にて血液検査の基礎的内容を開催予定

・第9回東京都医学検査学会に関して，テーマと概要を確認し9月初旬までに内容と講師を決定する。

・日臨技助成金（乳がん関連）に関して，南部地区健康まつりで乳がん触診モデルを用いてデモ体験を予定。

<東部地区> ・特になし

<西部地区> ・特になし

<南部地区> ・南部地区親睦会について

日時：平成24年9月1日（土） 16:00～20:00

場所：品川 G00S フィッシングガーデン内

内容：バーベキュー

<北部地区> ・北部地区レクレーションについて

日時：平成24年8月31日（金） 19:00～21:30

場所：池袋 ハイパーレーン

内容：ボーリング大会および懇親会

<中部地区> ・特になし

<多摩地区> ・特になし

<フォーラム委員会> ・原則として単独開催とするが，今後を踏まえ東京都医学検査学会との共催を検討する。

【検討事項】

- ・特になし

○渉外部

【報告事項】

< S T I 予防活動 >

- ・ 6月16日(土) 日大桜ヶ丘高校にて S T I 予防教室開催
対象：第2学年(454名)男子・女子
時間：11:45～13:25
講師：杉本・飛知和
- ・ 6月21日(木) 東京電子専門学校にて S T I 予防教室開催
対象：第2学年(30名)男子・女子
時間：13:00～16:00
講師：尾形・森・佐藤(信)
- ・ 今後の S T I 予防教室開催予定

7月6日(金)	13:00～13:50	1年生(男女別 339名)	大森学園高校
7月11日(水)	13:50～14:20	2年生(男子 333名)	安田学園高校
7月11日(水)	11:00～12:00	1年生(男女別 212名)	都立芝商業高校
7月13日(金)	13:00～13:50	2年生(女子 237名)	日大豊山女子高校
平成25年3月	時間未定	未定	都立練馬工業高校

【検討事項】

・ 学生対象講演について

期 日：平成24年7月7日(土) 14:00～16:10(受付 13:30～)

場 所：社会保険中央病院 4階講堂

テーマ：「臨地実習の意義と取り組み方」

講演1：臨地実習の意義 東京女子医科大学東医療センター 浅野 直仁技師

講演2：私の体験談 東京慈恵会医科大学附属第三病院 赤峯 里望技師

公益財団法人結核予防会複十字病院 嘉村 勇樹技師

講演3：管理職の立場から、新入職員へ望むこと—当院の事例を含めて—

医療法人財団慈生会野村病院 椎津 稔 技師

定 員：150名

付 記：講師委嘱状及び派遣依頼状発送済み。学校への案内送付済み。

締め切りは6月27日(水)とする。本日現在3校から計136名の申込み。各役割分担を決定した。

・ 公開講演会について

予定していた帝京大学での開催は、本年度は断念することとなった。新渡戸学園にて開催打診中である。

公開講演は、新宿さくらクリニック院長の澤村先生に打診中である。

大学での開催困難な場合を踏まえ、前年同様の開催場所の空き状況を調査し、同時進行とする。

○学術部

【報告事項】

・ 議事録内容確認

第2回学術部会議事録の確認を行った。

・ 理事会報告

技師会の執行機関として置かれる各部について、編集部を学術部に吸収し、学会運営部を新設することが説明された。また、情報システム運営委員会については事務局に吸収されることも併せて報告された。

・ 編集委員会報告

特集については、担当する研究班が入稿に間に合うように責任を持って執筆者に依頼を出すようにすること。研修会の要旨は必ず載せているので、講演者に原稿を書いてもらうように依頼することが伝えられた。

研究班HPの有効活用をお願いしたい旨が学術部長より再度報告された。

その際、HP担当者への負担が考慮され手当を出す意見が出された。それに対して、「パレットプランニングに依頼している研究班は原稿を渡すだけなので作業料は発生しないが、自前で運営している研究班に支給することは、良いのではないか。」という見解が示された。

・学会関係報告

第9回東京都医学検査学会のキャッチコピーが「進化に乗り遅れるな BLS evolution」に決まったと報告された。各研究班の班長には実行委員会委員になっていただくこと、一般演題を50演題は集めたいとの学会長の意向が報告された。

また、第2回首都圏支部医学検査学会は、2013年10月に開催予定であることも併せて報告された。

・来年の事業計画について

予算総会議案書を会誌2月号に掲載すること、予算総会は今までは3月下旬の開催であったが、2月中旬～3月上旬に開催する予定であること、事業計画案を9月5日の監理会議に提出するため、8月末までに研修会の回数と予算、その他企画などについて学術部長に報告してほしいことが報告された。

・予算執行状況について

従来半期ごとの報告であったが、第一四半期（6月末まで）の会計報告を7月10日までに提出してほしいこと、報告は会計部長と学術部長に行ってほしいことが報告された。

【討議事項】

・日臨技生涯教育推進研修会について

各研究班2回ずつの割り当てとしたが、専門教科だけが申請できるとのこと。例年、情報は基礎として申請しているので推進行事として開催できない点について協議されたが、情報が専門として申請することで決着した。なお、この助成金は研究班に入るわけではなく、都臨技に入るお金であることが説明された。

・第9回都臨技学会の研究班特別企画

スケジュールの都合上、4題のみとし、今回担当しなかった研究班には2013年10月開催予定の首都圏学会で担当していただくこととなった。研究班幹事と相談する必要があるとのことだったが、取り急ぎ割り振りが次のように決められた。

都臨技学会：情報・血清・公衆衛生・一般

首都圏学会：生理・血液・化学・輸血・病理・微生物

変更してほしい場合は、学術部長に連絡していただくこととなった。

・学術部内規の見直し

受益者負担研修会の細則について

継続審議事項となっているこの案件については、血液研究班より以下の意見が出された。

1. 講師料や受講料に各部門で差があってもいいのではないか。

予備準備や知識の習得も必要であるし、1日拘束されるので2万円（上限）は妥当。

収支がきちんとしているならば、そこで収益があればほかで還元すればよい。

会場や顕微鏡の手配を技師会でも面倒みてくれるのなら一律でもよい。

2. 講師料を下げるのであれば、メーカー共催をつけたらどうか。またはメーカー主催にしてはどうか。

〇〇シンポジウムのようにメーカー主催で、技師会が協力または技師会とは別にして技師が雇われるような形態を取ってはどうか。

3. 面倒なので会則の詳細を作って決めてしまうのはどうか。今までなかった方がおかしいのではないのでしょうか。

以上

この意見を踏まえて討議が行われた結果、以下の意見が出された。

講師料は学術部の一般会計から出してほしい。

事前準備は行動費として請求する。

講師料は決めてもいいのでは。

会場費も技師会持ちにしてほしい。

継続審議とし、血液の後藤班長に意見をまとめていただくこととなった。

- ・来年度の基礎研修会について、学術部長より以下の説明があった。
3つの研究班が担当し、4ヶ所位の場所で開催を予定していること。
各会場では同じ（基礎的な）内容を講演すればよいので、各研究班の発表者1名だけが出向けばよい。
（受付などは組織部が担当してくれるため。）
これに対し、各研究班から以下の意見が出された。
同じ内容であっても他の会場で発表するのは負担感がある。そもそもこのような研修会を開催するニーズが会員にあるのか。（複数の研究班より）
今のままでも十分なのではないか。
この意見より、追加で学術部長から説明があった。
ニーズはあるはず。この研修会開催については、中長期検討委員会で挙がってきたものである。以降討議を行ったが、各研究班よりこの研修会を行うニーズと研修会開催方法がはっきりしないとの意見が出され、継続審議となった。
- ・学術部の運営について、学術部長より以下の説明があった。
学術部会の下に標準化委員会・班長会議・会誌編集委員会・生涯教育委員会を置くこと。
班長会議は班長が主体の会議とし、議長や会計は班長から選出。担当理事はオブザーバーとして参加。
議長の任期は1年とする。議長は学術部会にも参加し、班長会議の意見を伝える。
これに対して各研究班より以下の意見が出された。
班長会議は今までと同様の形式でよいのではないか。
学術部会と班長会議を分ける意義は少ないのでは。
会議が増えるだけで、その分の行動費も増えることになる。その予算を他に回したほうが良いのではないか。
メリットが見えてこない。
班長1名が学術部会で意見を言うのは一人の意見を言うことになってしまう。それがいいことなのか。
以上より、この変更については一度取り下げることとなった。
- ・エンブリオロジストに関する研修会の開催依頼が株式会社サイエンス・フロンティアズより提出されている旨学術部長より報告があった。
討議の結果、公衆衛生研究班と開催に向けた打ち合わせを進めていただくことになった。

○庶務部

【報告事項】

- ・現在の会員数及び賛助会員数の報告（平成24年6月30日現在）
会員数 4,129名
平成24年度賛助会員数 68社

○会計部

【報告事項】

- ・平成24年6月の予算管理月報、他3表を作成し報告
- ・平成24年6月30日現在の会費収入状況報告
- ・平成24年6月の主な事業活動収支報告
支出：臨検啓発事業（会員証発行費用、管理費（書面評決票集計作業費用・委託費など））
- ・首都圏学会費用について
収入見込みに対する会場費の割合について検討した。
運営基金取り崩しの検討が必要との意見が出された。
- ・公益認定関連
可及的速やかに振り分けを行い、委員に資料配付を行うこととした。

○事務局

【活動報告】

- ・委嘱状の発送（6通）
- ・役員就任状送付（186通） 内訳：日本・道府県技師会 47，賛助会員 83，関係団体 13，都関係 3，歴代会長 6，会長関係者 34
- ・メディックプランニングオフィスからの会員向け保険の案内状送付準備
- ・都議会民主党ヒアリングについて 9月4日～11日の期間で日程調整中

・理事研修会について

平成24年8月4日（土）～5日（日）

4日（土） 19:00～ 市ヶ谷界隈で懇親会 宿泊先 グランドヒル市ヶ谷

5日（日） 9:00～17:00 事務所にて研修

研修内容 ①各部局の機能紹介

②公益法人移行後の取り組みについての検討

～公益法人としてすべきこと～

～公益法人としてできること～

～公益法人としてやってみたいこと～

3) 各委員会報告

○編集委員会

【報告事項】

- ・東広社より8月号の入稿状況について報告があった。
- ・確認事項
議事録は、翌月1週目の月曜日までに編集部長・編集次長・編集長へ送ること。
特集・シリーズは入稿期限を守ること。
欠席する際は、極力代理をたてること。
要旨は、講師依頼料に原稿料が含まれているため、必ず原稿を書いて頂くようお願いすること。
- ・来年2月号以降のシリーズについて
他職種で検査技師との関わりが強い部門をお願いする。
(看護師，放射線技師，臨床工学士，薬剤師)
- ・ホームページについて
血液・微生物検査研究班が情報発信を開始した。
- ・第9回東京都医学検査学会について
日時：平成25年2月17日（日）
会場：東医健保会館（信濃町）
学会のポスターを8月号配布時に折り込みで入れる。

○生涯教育制度実行委員会

【報告事項】

- ・生涯教育対象行事（6月）
都臨技研修会 11件 登録者数 947名
- ・申告
会場研修 8件 登録者数 16名

○役員選出委員会

【検討事項】

- ・公益法人移行に伴う代議員の選出規則の対応
代議員選出に係わる諸規則(案)を役選委員会にて作成する。

①最初の代議員選任に係る規程(案)

規則の雛形では選挙となっているが、準備期間等を考慮し選出とした。但し、新定款(最終案)の附則4の記述と不整合となる。

代議員数 正会員 100 人に対して 1 人の割合→約 40 名と補欠者を選出する。

代議員選出方法 各支部地区に選出人数を振り分け、地区理事が学術研究班幹事や地区幹事を主軸に候補者リストを作成する。地区役選委員は候補者リストより代議員を最終的に決定する。

代議員任期 任期は 2 年とする。

②選挙規則(案)

選挙管理委員会について 任期：2 年とする。但し、会長が正会員から指名した委員は 1 年とする。

選挙地区について 支部の区分けについては、理事会に委ねる。

選挙事務取扱詳細 新たに組織される選挙管理委員会にて作成するのが妥当とした。

③選挙の実働

最初の代議員選出は、役選委員会で実施する。

代議員選挙は、選挙管理委員会にて実施する。

○表彰選考委員会

【報告事項】

・委員会議事運営に関して(前表彰選考委員会の引き継ぎ申し送り事項)

①主催団体から送付される各賞の推薦依頼は当会に届いてから推薦書等の書類提出期限までがあまりないので、前年までの依頼を勘案し表彰対象者を早めに人選し、候補者へ必要提出書類の作成を依頼する。

②募集要項の要旨、理事会への推薦提出などを勘案して、委員会への推薦締め切り日を決定し早急に都臨技ホームページに掲示する。

③会員の表彰対象者データベースなどの作成を優先課題とする。また、その内容に関しては随時更新する必要がある。

・担当役割分担について

①都臨技関係：飯野、高橋、事務局

②日臨技関係：安部

③官公庁関係：千葉

④関連団体各賞

1. 小島三郎記念技術賞：永瀬
2. 福見秀雄賞：尾形
3. 黒住財団研究振興財団研究助成事業：小松
4. 保健文化賞(第一生命保険)：飯野
5. 公益信託臨床検査医学振興基金研究奨励賞：小松
6. 公益信託臨床検査医学振興基金「藤田光一郎賞」：小松
7. 緒方富雄賞：宮崎
8. 医療功労賞(読売新聞社)：高橋

以上、各委員担当とした。

・平成 24 年度第 41 回医療功労賞(読売新聞社主催)の募集要項が 6 月 29 日到着、提出期限は 9 月 5 日。

・平成 25 年度春の叙勲・褒章推薦要項が 7 月 6 日到着、提出期限は 7 月 17 日。

【検討事項】

・前回の表彰選考委員会で決定した 後藤 清 会員の名誉会員推薦について次回理事会で承認をもらう。

・6 月 29 日到着した平成 24 年度第 41 回医療功労賞(読売新聞社主催)の提出期限が 9 月 5 日なので当会への提出期限は 8 月 18 日としホームページに掲示する。

前年度書類等の整理がつかず見送りとなった第 40 回医療功労賞の推薦候補者について再度連絡を取り、第 41 回医療功労賞に推薦することとした。

・平成 25 年度春の叙勲・褒章推薦について

推薦要項が 7 月 6 日到着、提出期限は 7 月 17 日のため候補者を人選し、書類を揃えるのは時間的に厳しいので「該当者無し」で下田会長へ報告することとしたい。

前年度より話があったように推薦に該当する候補者については早急に選定を開始する必要がある。

- ・福見秀雄賞については前回の委員会で前回候補推薦者 沖田 政義 氏を再度推薦することで話し合い、候補者に打診し了解を得たので理事会へ報告することとした。提出書類等については加筆し再度整理をして頂き、提出してもらうこととした。
- ・小島三郎記念技術賞については癌研有明病院 八木 靖二氏、東京女子医大 横山 貴氏らを今後推薦候補として検討を続ける。

○都臨技データ標準化・精度管理調査委員会

- ・今年度よりデータ標準化委員として昭和大学病院の石原氏に代わり菅野光一氏、また精度管理調査委員として虎の門病院の池田千秋氏が新しく加わった。
- ・平成 23 年度都臨技精度管理調査最終報告書について
平成 23 年度最終報告書については、6 月末までに原稿をまとめることとし、その形式については今年度から CD-ROM による配布を行うこととする。業者や費用などについて調査することとした。
- ・平成 24 年度都臨技精度管理調査について
 - ①平成 24 年度都臨技精度管理調査は、平成 24 年 10 月 16 日（火）日大板橋病院にて試料を作成し、夕方発送、翌 17 日（水）に測定を依頼することとした。
 - ②今年度も申し込みについては日臨技システムの Web 方式のみを採用し、締め切りは平成 24 年 8 月 24 日（金）17 時までとした。
 - ③今年度の調査では新たに臨床化学項目 Mg を採用し、白血球 5 分画については今年度も参考調査とした。
 - ④精度管理調査に用いる臨床化学用資料は 250 セットを日臨技に発注することとした。
 - ⑤ドライケミストリーの目標値については、今年度はサブ測定器としてドライ機を使用している基幹施設にも測定を依頼し、データ数を増やしたうえで目標値を算出することとした。
 - ⑥昨年度の血算調査に使用した容器は、容量が少なく攪拌がし難かったため、栗原委員に依頼し代わりの容器を探すこととした。
 - ⑦今年度より日臨技の会長を含む執行部が一新したため、標準化事業が継続して行えるかどうかとの質問が挙がった。日臨技標準化事業の担当者に確認することとした。
 - ⑧今年度の精度管理調査より凝固線溶検査を導入する件について、資料の取り扱いが困難である点や日臨技調査では機器別・試薬別の調査が行われている点などを考慮して、凝固線溶検査装置メーカーを集めて標準化の進捗状況などを調査することとした。
- ・日臨技標準化事業について
荒木委員長より 2012 年日臨技標準化事業の説明があり、今年度も昨年度と同様な試料で行われることとなった。また日臨技の試作品である多項目実用参照物質について、都臨技基幹施設のデータを比較したいとの提案がありそのデータ抽出が可能であるかエイチアンドティ社に確認することとした。
- ・昨年度からの懸案事項である日臨技精度管理調査を抽出し、都臨技精度管理調査との比較を行う件について今年度は実施したい旨の報告が荒木委員長よりあった。
- ・都臨技精度管理調査の学会報告について、大川委員が医学検査に投稿予定との報告があった。

○学会企画委員会

- ・学会メインテーマ・ポスターについて
学会メインテーマの決定について小松学会長よりその経緯の説明があった。
「進化に乗り遅れるな！ BLS evolution ー臨床検査の可能性ー」
B··Biomedical L··Laboratory S··Scientist
ポスターの原案に上記 BLS の意味を加えることで了承された。
- ・特別企画について
 - ①特別講演（公開講演） 講師：向井万起男先生（慶應義塾大学准教授 病理学）
 - ②研究班企画 4 題：情報・血清・公衆衛生・一般
 - ③組織部企画 時間枠は 90 分で依頼。7 月 6 日組織部会にて内容を検討願う（蝶名林理事が取次ぎ）。
 - ④学生対象企画（Student forum） 時間枠 45 分。世界を対象に内容を企画する。

・学会日程表

- ①研究班企画 大ホール：血清検査研究班，一般検査研究班
中ホール；公衆衛生研究班，情報研究班
※一般演題発表の部門と研究班企画担当部門が同時進行しないように配慮する。
- ②機器試薬セミナー 一日を通し同一の会場で進行する。
- ③一般演題 応募演題数により会場を拡充する。
- ④学生対象企画 会場，時間については参加者数を考慮し配置。
- ・一般演題 募集期間：9月15日（土）～10月20日（土）
登録方法は JAMTIS を利用する。
- ・メーカー協賛について ランチョンセミナー：第1・2会場は100名定員とする。
第3・4会場は50名定員とする。
時間枠は1時間とする。
メーカーには講師・司会・弁当を準備してもらおう。セミナー参加費用は徴収しない。
- ・機器試薬セミナー 時間枠は1コマ30分（入れ替え時間含む）とし，20,000円を徴収する。
内容はできるだけ学会テーマに則ってもらおう。
セミナーのサブタイトルとして「企業からの最新情報」を加える。
申込み期限は10月10日とする。（午前・午後の希望も入れる）
- ※ランチョンセミナーおよび機器試薬セミナーについては申込み先を都臨技事務所とする（事務局長へ事前確認）
問い合わせ先は蝶名林理事，中西理事とする。
- ・学会広報について
都臨技会誌 学会開催案内を8月号に掲載予定。ポスター第1弾を8月号に折り込み予定。
ホームページ 6月23日学会公告アップ。今後，開催概要，演題応募依頼を掲載。
- ・学会参加費 会員2,000円，非会員4,000円とする。
- ・抄録集について 別刷として2月号会誌に同封し，全会員に配布する。（4,200部 360,000円）
非会員，学生会員参加者分を増刷。
- ・学生会員参加について 国家試験が近く，学校単位での参加は困難か。
松村理事に技師養成学校の意向などの取りまとめを依頼する。
- ※対象企画，参加費，ランチョン参加，弁当手配，抄録集増刷等は上記結果を踏まえて再考。
- ・学会慰労会 会場：17：00～ 第2会場を使用し，ケータリング業者に準備を依頼。
対象：実行・実務委員，メーカー参加者
参加費：一律1,000円とする。
- ・会場借用について 第1会場は当日のみの借用とし，その他会場については準備の都合上前日夕より借用する。

○STI 予防委員会

【報告事項】

<今後の STI 予防教室の日程および派遣講師>

- 6/21 東京電子専門学校 尾形，佐藤（信），森
7/6 大森学園高校 佐藤（信），佐藤（美）
7/11 安田学園高校 福良，宮後
7/11 都立芝商業高校 佐藤（信），木村
7/13 日大豊山女子高校 石井，森

【検討事項】

- ・今年度の日臨技委託事業について
帝京大学学園祭（10月20日，21日）への参加
STI 診療専門の医師を招いて，STI の知識の普及と予防啓発のための講演会，資料展示，配布などを行う。
参加の可否を含め，日時など詳細は大学の学園祭実行委員会に検討いただく。松村理事より，大学が再編されて初めての学園祭とのことで，都臨技が参加可能かどうか学園祭直前までわからないとのこと。今年度は参加を見合わせる事となった。講師の候補として，新宿さくらクリニックの澤村正之医師に打診する。

- ・都臨技ホームページの更新

渉外部のページにSTI予防活動の記事を掲載する。7月末までに更新したい。内容は6月～7月の予防教室の写真、講師の感想、受講者の声など。担当：松田

- ・委員、講師の名刺作成

委員、講師の勤務先、連絡先などを記載した名刺を作成する。（ひとり10枚程度）担当：片岡

3. 審議事項

○庶務部

新入会員67名が提示され、承認された。

また堀場製作所より賛助会員入会の申請が提出されており、承認された。

○表彰選考委員会

後藤 清会員が推薦され、名誉会員として承認された。

○役員選出委員会

新公益法人制度における最初の代議員の選任に係わる規程（案）および選挙規則（案）が提示され萩原委員長より説明がなされた。十分に熟読し、意見を集約したうえで次回へ継続となった。

4. 共催許可願い書および特別講習会許可願い書について

○病理細胞診検査研究班より共催許可願い書が1件提出され、承認された

講演名：病理細胞診検査研修会
1)術中迅速組織診断用凍結切片作製への川本法の応用
2)凍結標本作製法 ―乳腺術中迅速診断―
3)術中迅速組織検査における感染防止対策

期 日：平成24年9月12日（水） 18:30～20:30

会 場：日本医科大学 橘桜会館2階ホール

講 師：川本 忠文 医師 鶴見大学歯学部 RI 研究センター（他 2名）

賛助会員：ライカ マイクロシステムズ株式会社

○輸血検査研究班より共催許可願い書が1件提出され、承認された

講演名：整形外科領域の輸血 ―自己血使用の実際―

期 日：平成24年9月11日（火）

会 場：東京都墨東病院 14階講堂

講 師：脇本 信博 医師 帝京大学医学部附属病院

賛助会員：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティック（株）

○生理検査研究班より特別講習会実施許可願い書が1件提出され、承認された

講演名：循環生理実技講習会 「不整脈心電図の読み方・考え方

～初心者でも大丈夫。ラダーグラムを用いて考えれば、不整脈心電図はこわくない。ペースメーカーも理解できる～

期 日：平成24年9月15日（土）14:00～18:30

会 場：フクダ電子本郷事業所 新館1階ホール

講 師：市川 篤 技師 東京女子医科大学病院（他 1名）

○生理検査研究班より特別講習会実施許可願い書が1件提出され、承認された

講演名：呼吸機能検査実技セミナー 「～あなたは、どのデータを選びますか～」

期 日：平成24年10月14日（日）10:00～16:00

会 場：東京通信病院 管理棟 小講堂

講 師：上ノ宮 彰 技師 昭和大学病院（他 3名）

5. 後援および名義使用許可願い書について

- 一般社団法人 日本IHE協会より後援および名義使用許可願い書が1件提出され、承認された
講演名：第39回 IHE勉強会 in 東京「臨床検査分野（初級編）」
期 日：平成24年9月1日（土） 13:00～
会 場：東京ミッドタウン シスコ セミナールーム

平成24年7月18日（水）
（社）東京都臨床検査技師会

議 長 印
（下田）

監 事 印
（東海林）

監 事 印
（立花）